

総合的な学習の時間－１２（第６学年） 視点をもとに分析し、判断する力を育成する事例
【学習活動の概要】

1 単元名 ユニバーサルデザインを考えよう																			
2 単元の目標 身近なユニバーサルデザインを見つめ、生活に生かすことを通して、ユニバーサルデザインの意味や価値を考えるとともに、自ら積極的に社会に参画しようとする。																			
3 評価規準 【関心・意欲・態度】ユニバーサルデザインに関心をもち、生活の中に広げていこうとしている。 【思考・判断・表現】社会的な価値を基にした優先順位から判断し行動を決定している。 【技能】調べたことや目的に応じて方法を考えたり分かりやすく伝えたりしている。 【知識・理解】ユニバーサルデザインの考え方、未来社会における価値などを理解している。																			
4 教材 本単元では、女性・男性、子どもやお年寄り、右利き・左利きの人、力の強い人・弱い人、障害のある人など、誰もが快適に利用できる設計という意味のユニバーサルデザインが中心的な教材となる。そのユニバーサルデザインを生活の中の様々な商品などから見付けたり、その考え方を生活の中に生かそうとする学習活動を行う。 このことで、周囲の様々な人や自分、利用するものなどを見つめ、共に生きていこうとする願いをもつとともに、自分たちの身近にある当たり前なものを見直し、みんなにとってよりよいものに創り替えていこうとする態度を育てたいと考え、単元を構成した。																			
5 主な学習活動 (1)単元の展開（全45時間）																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>学習活動</th> <th>言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一次</td> <td>○身近なものからユニバーサルデザインを見付けよう。(5)</td> <td>・文房具などの身近なものにあるユニバーサルデザインを知ることで、身の回りからたくさんのユニバーサルデザインを探そうとする。</td> </tr> <tr> <td>第二次</td> <td>○ユニバーサルデザインの意味を考えよう。(6:本時6/6)</td> <td>・ユニバーサルデザインの定義から様々な商品や施設の工夫を探し、それを類型化したり序列化したりして整理する。</td> </tr> <tr> <td>第三次</td> <td>○洗足池公園をユニバーサルデザインの視点で見直し改善案を考えよう。(12)</td> <td>・既存の施設などについて、ユニバーサルデザイン化するためのアイデアをコンセプトマップで想像する。</td> </tr> <tr> <td>第四次</td> <td>○洗足池公園のり・デザインアイデアを、コンペティションで選定しよう。(12)</td> <td>・コンペで選定する際には、それぞれのメリットやデメリットを明らかにする話し合いを行ってから選定する。</td> </tr> <tr> <td>第五次</td> <td>○みんなで考えた「未来の洗足池公園」を区民の皆さんに提案しよう。(10)</td> <td>・「未来の洗足池公園」の提言は、文字と映像とで分かりやすい表現様式となるようにする。</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○身近なものからユニバーサルデザインを見付けよう。(5)	・文房具などの身近なものにあるユニバーサルデザインを知ることで、身の回りからたくさんのユニバーサルデザインを探そうとする。	第二次	○ユニバーサルデザインの意味を考えよう。(6:本時6/6)	・ユニバーサルデザインの定義から様々な商品や施設の工夫を探し、それを類型化したり序列化したりして整理する。	第三次	○洗足池公園をユニバーサルデザインの視点で見直し改善案を考えよう。(12)	・既存の施設などについて、ユニバーサルデザイン化するためのアイデアをコンセプトマップで想像する。	第四次	○洗足池公園のり・デザインアイデアを、コンペティションで選定しよう。(12)	・コンペで選定する際には、それぞれのメリットやデメリットを明らかにする話し合いを行ってから選定する。	第五次	○みんなで考えた「未来の洗足池公園」を区民の皆さんに提案しよう。(10)	・「未来の洗足池公園」の提言は、文字と映像とで分かりやすい表現様式となるようにする。
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点																	
第一次	○身近なものからユニバーサルデザインを見付けよう。(5)	・文房具などの身近なものにあるユニバーサルデザインを知ることで、身の回りからたくさんのユニバーサルデザインを探そうとする。																	
第二次	○ユニバーサルデザインの意味を考えよう。(6:本時6/6)	・ユニバーサルデザインの定義から様々な商品や施設の工夫を探し、それを類型化したり序列化したりして整理する。																	
第三次	○洗足池公園をユニバーサルデザインの視点で見直し改善案を考えよう。(12)	・既存の施設などについて、ユニバーサルデザイン化するためのアイデアをコンセプトマップで想像する。																	
第四次	○洗足池公園のり・デザインアイデアを、コンペティションで選定しよう。(12)	・コンペで選定する際には、それぞれのメリットやデメリットを明らかにする話し合いを行ってから選定する。																	
第五次	○みんなで考えた「未来の洗足池公園」を区民の皆さんに提案しよう。(10)	・「未来の洗足池公園」の提言は、文字と映像とで分かりやすい表現様式となるようにする。																	
(2)本時の学習 グループのベストユニバーサルデザインを選定することを通して、ユニバーサルデザインの高さを確認し実感する。																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○調査してきたユニバーサルデザインをグループの友達に発表する。 ○ブレストなど自由な意見交換しながらグループ内のベスト商品を選定する ○ベスト商品の商品名を一言で考える。 </div>																			

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領 第5章 総合的な学習の時間 第3の2の(2)において、「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。

体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりすることは、問題の解決や探究活動の過程において特に大切にすべきことである。そのためには、分析とは何をする事なのか具体的なイメージをもつことが必要となる。例えば、集めた情報を共通点と相違点に分けて分類したり、時間軸に沿って並べたり、原因と結果に分けたり、変化や結果を予測したり、現実社会の事象に当てはめたり、多面的・多角的に分析したりすることなどが考えられる。

本事例は、ユニバーサルデザインの視点から考えて、最も優れている商品を選ぶという学習活動を行う。それぞれの商品のよさや特徴を明らかにし、それをユニバーサルデザインの視点から序列化して選ぶために、小グループでの話し合い活動を行った。

【言語活動の充実の工夫】—メリット・デメリットを根拠にした話し合い—

調べてきた商品のうち、最もユニバーサルデザインの視点から優れていると考えられるものを判断し選定する。その上で、その優れた特徴を一言で表す活動を次の手順で行った。

①ユニバーサルデザインの視点を確認する。

- ・誰でも（公平性）
- ・わかりやすさ（簡単さ）
- ・安心で安全（安全性）

↓

②各自が商品の特徴を発表する。

↓

③それぞれの特徴について、メリット、デメリットの視点で表に整理する。

↓

④メリット・デメリットを基に、優れている商品を選定する。

↓

⑤選定された商品の特徴を一言で表す商品名を考える。

↓

⑥考えた商品名をクラス全体に紹介する。

